

被爆75周年原水爆禁止 山形県平和大会

とき:2020年7月18日(土)

ところ:米沢市「伝国の杜・置賜文化ホール」

メインスローガン

核も戦争もない平和な21世紀に!

サブスローガン

- ・子どもたちに核のない未来を！
- ・原発事故被害者の切り捨ては許さない！安心して暮らせる福島を取り戻そう！
- ・許すな！再稼動 止めよう！核燃料サイクル めざそう！脱原発社会
- ・STOP！原子力推進政策 増やそう！ 持続可能なエネルギー
- ・辺野古に基地をつくらせるな！ めざそう基地のない日本！
- ・非核三原則の法制化を！ 東北アジアに平和と非核地帯を！
- ・核兵器禁止条約を推進し！ 早期発効を！
- ・再びヒバクシャをつくるな！ 全てのヒバクシャの権利拡大を！
- ・憲法改悪反対！ 安倍政権の暴走を許さない！ 平和と人権を守ろう！

【記念講演】



『原発事故から10年、
放射能の今とこの国の行方』

【講師】

小出 裕章 氏
こいで ひろあき

■1949年東京生まれ。元京都大学大原原子力実験所助教。原子核物理学者。原子力の危険性に気付き、伊方原発裁判・人形峠のウラン残土問題・JCO臨界事故などで、放射能被害を受ける住民の立場に立ち、原子力専門家の立場からその危険性を訴え続けている。著書に「隠される原子力核の真実」(創史社)「放射能汚染の現実を超えて」(河出書房新社)「原発のウソ」(扶桑社)など多数。

山形県平和大会日程

駐車場

伝国の杜駐車場・上杉城史苑西側駐車場

集合場所・時間

「伝国の杜」前 12:30集合 → 12:45平和行進
→平和大会・開会 → 13:30

平和大会開催会場

※集合場所・会場案内地図
は裏面をご覧ください。

米沢市「伝国の杜・置賜文化ホール」

～コロナ感染防止対策について～

- ①参加者は各地区担当者に氏名と連絡先を報告願います。
- ②参加者はマスクの着用をお願いします。
- ③当日朝、体調がすぐれない方・熱がある方は欠席してください。

「核と人類は共存できない」

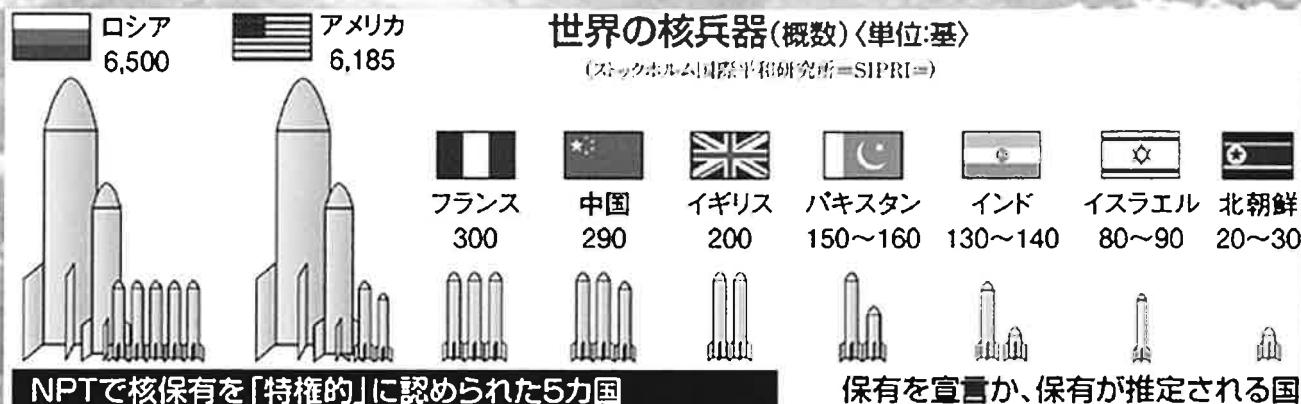
1945年8月6日、広島に、そして8月9日には長崎に原子爆弾が投下されました。

そして、第二次世界大戦は終結し、「東西冷戦」により核兵器は世界中に拡散しました。

現在、NPT（核兵器不拡散条約）は大国5か国（アメリカ、ロシア、フランス、中国、イギリス）だけに核保有を認めていますが、アメリカとロシアが世界の核兵器の約9割を保有し、この不平等条約に反発するパキスタン、インド、イスラエル、朝鮮民主主義人民共和国が独自に核開発を行い、これら9か国で14,000発もの核兵器が世界に存在しています。

一方、世界で唯一の被爆国である日本は、原発の使用済み核燃料からプルトニウムを抽出し、再利用する「核燃料サイクル」を推進していますが、高速増殖炉とプルサーマル発電でMOX燃料を使用する計画はトラブルが続出し、2016年に高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉が決定したことにより、プルトニウムの保有量は約47トンにも達しています。この状況に世界からは、「日本の核兵器保有＝核武装」の懸念の声があがりはじめています。

被爆75周年原水爆禁止山形県平和大会をとおして、「核と人類は共存できない」ことを改めて確認し、「核も戦争もない平和な21世紀」をめざしましょう。



長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）の核弾頭データなどをもとに作成（2019年6月現在）／長崎原爆資料館HPより

『ヒバクシャ国際署名』の状況（2020年6月現在）

○ 賛成した全国の首長 1,232市町村、20都道府県

○ 賛成した県内の首長 山形県、1市10町3村

山形県知事 吉村美栄子、朝日町長 鈴木浩幸、飯豊町長 後藤幸平、大江町長 渡邊兵吾、大石田町長（前）庄司喜與太、大蔵村長 加藤正美、尾花沢市長 菅根光雄、金山町長（前）鈴木洋、河北町長（元）田宮栄佐美、鮭川村村長 元木洋介、白鷹町長 佐藤誠七、戸沢村長 渡部秀勝、中山町長 佐藤俊晴、西川町長 小川一博、舟形町長 森 富広、上山市長 横戸長兵衛、寒河江市長 佐藤洋樹

○ 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書提出請願の採択 18議会（6市議会、9町議会、3村議会）

山形市議会、酒田市議会、寒河江市議会、南陽市議会、天童市議会、新庄市議会、河北町議会、西川町議会、大石田町議会、金山町議会、舟形町議会、鮭川村議会、大蔵村議会、最上町議会、真室川町議会、戸沢村議会、三川町議会、庄内町議会

【会場案内図】

- 集合・デモ行進スタート場所
- 平和大会会場

米沢市「伝国の杜・置賜文化センター」

〒992-0052
米沢市丸の内1丁目2-1
電話：0238-26-2666

